

**平成 28 年社会生活基本調査  
生活行動に関する結果**

**沖縄県結果の概要**

平成 29 年 8 月 2 日

沖縄県企画部統計課

## - 社会生活基本調査とは -

社会生活基本調査は、国民の生活時間の配分及び自由時間における主な活動について調査し、各種行政施策の基礎資料を得ることを目的とし、昭和 51 年の第 1 回調査以来 5 年ごとに実施しており、今回の調査は 9 回目に当たります。

平成 28 年社会生活基本調査は全国の世帯から無作為に選定された調査区に居住する 10 歳以上の世帯人員（本県では約 1,600 世帯、約 4,000 人）を対象に平成 28 年 10 月 20 日現在で実施されました。

本資料は、総務省統計局が公表した調査結果から、沖縄県の結果をまとめたものです。

## - 利用上の注意 -

- 1 増減及び増減率、構成比等の比率は、表章単位の数字から算出しています。
- 2 本文中の各活動の種類については、一部省略しています。

- 目次 -

1	学習・自己啓発・訓練	1
2	ボランティア活動	3
3	スポーツ	5
4	趣味・娯楽	8
5	旅行・行楽	11
6	全国との比較	13

- 主な用語 -

- 行動者数  
過去1年間（平成27年10月20日～平成28年10月19日）に該当する種類の活動を行った人（10歳以上）の数
- 行動者率  
10歳以上人口に占める行動者数の割合（%）
- 学習・自己啓発・訓練  
個人の自由時間の中で行う学習・自己啓発・訓練で、社会人が仕事として行うものや、学生が学業として行うものは除きます。
- ボランティア  
報酬を目的としないで、自分の労力、時間等を提供して地域社会や個人・団体の福祉のために  
行っている活動をいいます。
- スポーツ  
個人の自由時間の中で行うスポーツで、学生が体育の授業で行うものや職業スポーツ選手が仕  
事で行うものを除き、クラブ活動や部活動を含みます。
- 趣味・娯楽  
仕事、学業、家事などのように業務的に行う活動ではなく、個人の自由時間の中で行うものを  
いいます。
- 旅行・行楽  
旅行は1泊2日以上にわたって行う全ての旅行をいい、日帰りの旅行を含まない。行楽とは、  
日常生活圏を離れて宿泊を伴わず半日以上かけて行うものをいい、夜行日帰りも含みます。



## 1 学習・自己啓発・訓練

### (1) 「学習・自己啓発・訓練」を行った県民は41万6千人、割合は33.8%

「学習・自己啓発・訓練」について、過去1年間（平成27年10月20日～平成28年10月19日。以下同じ）に何らかの種類の活動を行った人の数は41万6千人で10歳以上人口に占める割合（以下「行動者」という。）は33.8%となっています。

男女別にみると、男性が20万2千人、女性が21万4千人となっており、行動者率は男性が33.5%、女性が34.1%で女性が男性より0.6ポイント高くなっています。

行動者率は平成23年に比べ2.4ポイント上昇しています。これを男女別にみると男性が2.5ポイント上昇、女性が2.4ポイント上昇しています。

行動者率を年齢階級別にみると、35歳～44歳を除く全ての年齢階級で上昇しており、男女別にみると、男性は15～24歳が最も高く、女性は10～14歳が最も高くなっています。45歳～54歳では男女で13.8ポイントの差がみられます。

図1-1 「学習・自己啓発・訓練」の年齢階級別行動者率

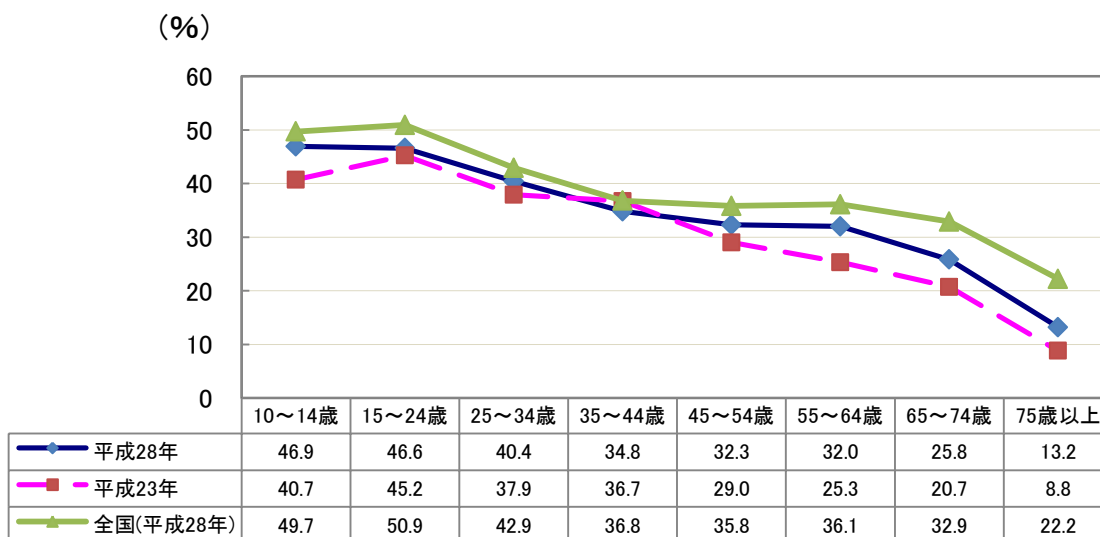
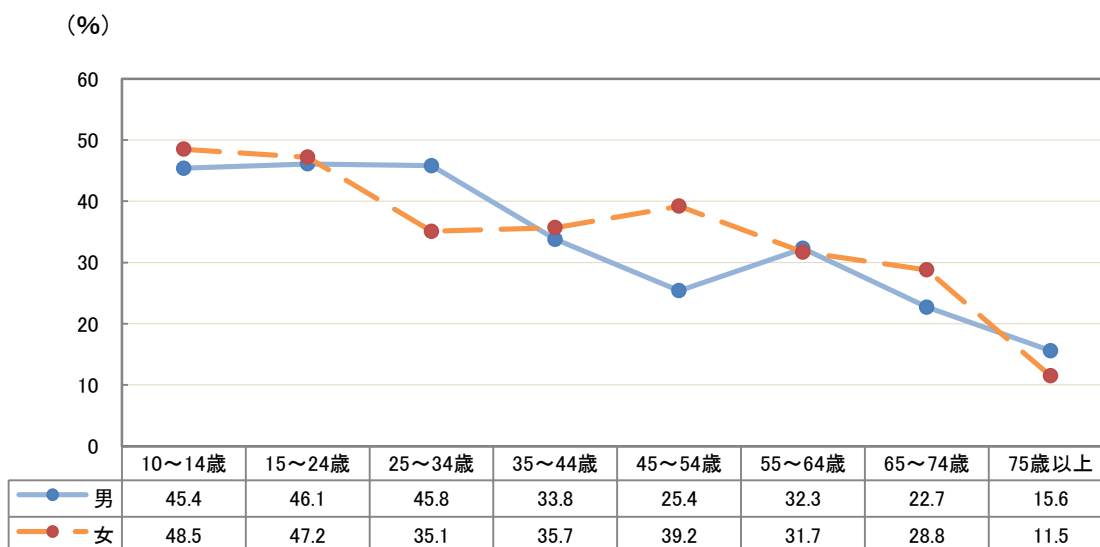


図1-2 「学習・自己啓発・訓練」の男女、年齢階級別行動者率(平成28年)



(2) 男性は「パソコンなどの情報処理」の行動者率が最も高く、女性は「家政・家事」の行動者率が最も高い

「学習・自己啓発・訓練」の種類別に男女別の行動者率をみると、男性は「パソコンなどの情報処理」が13.3%と最も高く、次いで「英語」が11.7%、「商業事務・ビジネス関係」が9.1%などとなっています。女性は「英語」が11.5%と最も高く、次いで「家事・家政」が11.4%、「芸術・文化」が10.9%などとなっています。

年齢階級別の行動者率をみると、「パソコンなどの情報処理」は45～54歳を除く全ての年齢階級で男性の行動者率が女性より高く、「家政・家事」は全ての年齢階級で女性の行動者率が男性より高くなっています。

図1-3 「学習・自己啓発・訓練」の種類、男女別行動者率(平成28年)

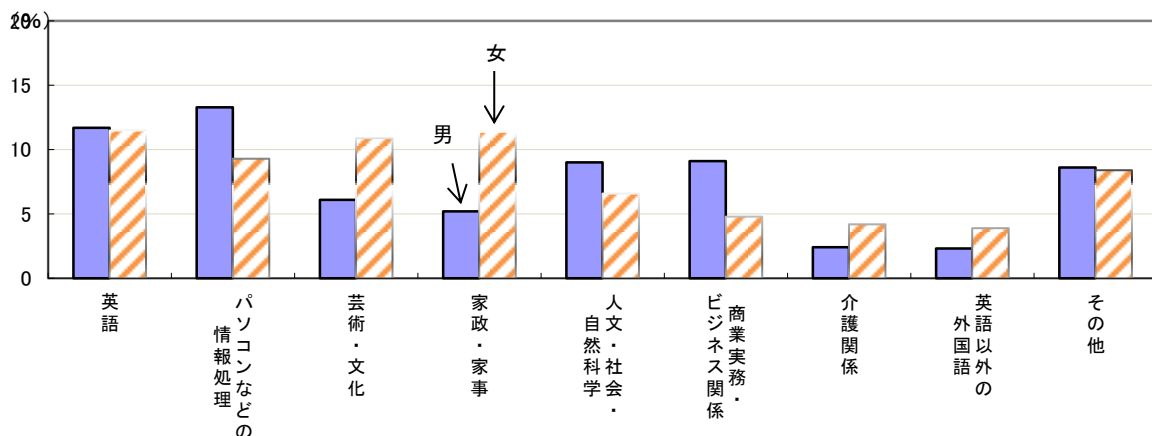
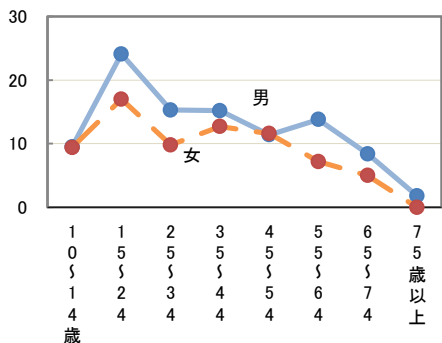
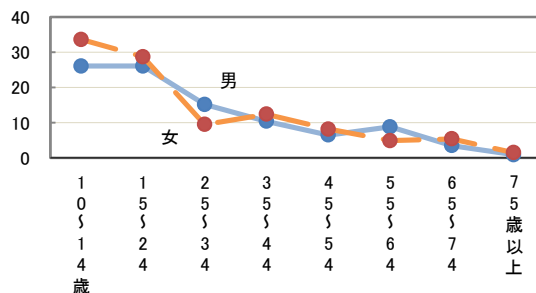


図1-4 主な「学習・自己啓発・訓練」の種類、男女、年齢階級別行動者率(平成28年)

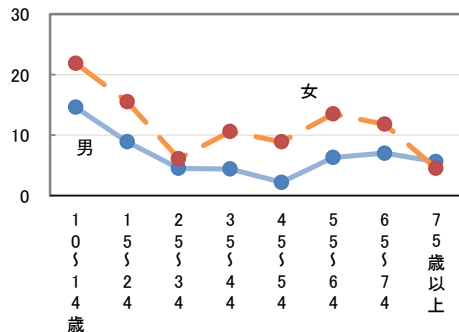
(%) パソコンなどの情報処理



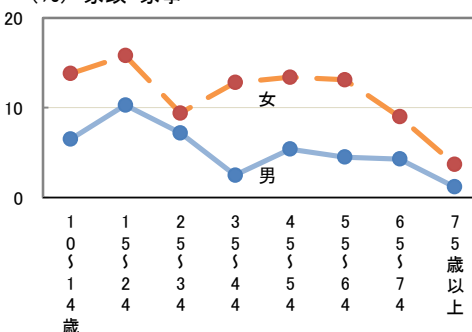
(%) 英語



(%) 芸術・文化



(%) 家政・家事



## 2 ボランティア活動

### (1) 「ボランティア活動」の行動率は25.1%で5年前より2.7ポイント上昇

「ボランティア活動」の行動者数は30万9千人で行動者率は25.1%となっています。  
男女別にみると、男性が15万6千人、女性が15万4千人となっており、行動者率は男性が25.8%、女性が24.5%で男性が女性より1.3ポイント高くなっています。

行動者率は平成23年に比べ2.7ポイント上昇しています。これを男女別にみると男性が3.6ポイント上昇、女性が2.0ポイント上昇しています。

行動者率を年齢階級別にみると、15～24歳と55～64歳を除く全ての年齢階級で上昇しています。

図2-1 「ボランティア活動」の年齢階級別行動者率

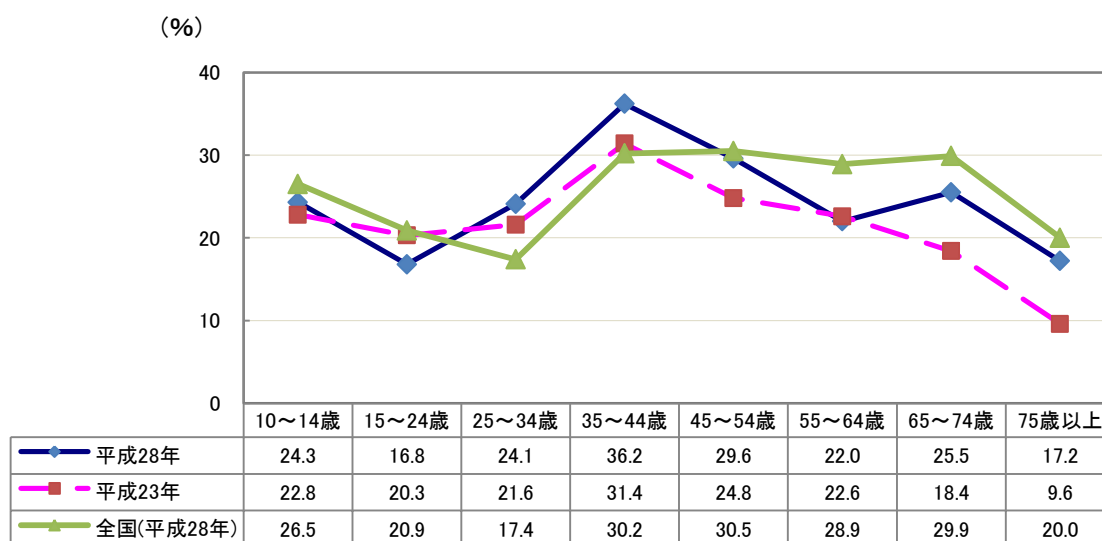
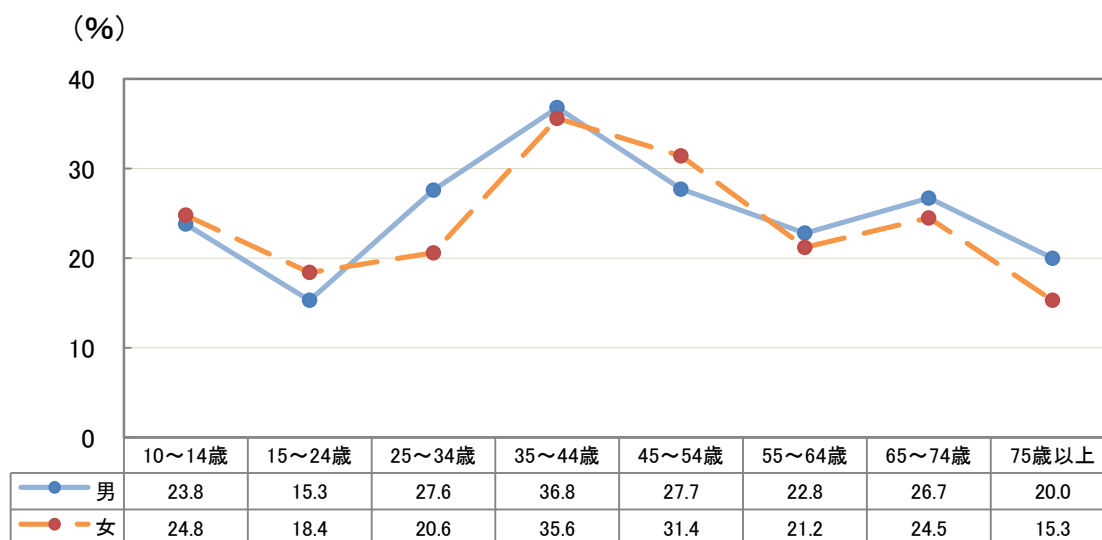


図2-2 「ボランティア活動」の男女、年齢階級別行動者率(平成28年)



(2) 行動者率は「まちづくりのための活動」が最も高い

「ボランティア活動」の種類別に行動者率をみると、「子供を対象とした活動」が10.2%と最も高く、次いで「まちづくりのための活動」が8.3%などとなっています。これを平成23年と比べると「子供を対象とした活動」が1.6ポイント上昇、「まちづくりのための活動」が1.1ポイント上昇などとなっています。一方、「災害に関係した活動」が1.5ポイント低下、「自然や環境を守るための活動」が0.6ポイント低下などとなっています。

また、男女別にみると、男性は「まちづくりのための活動」が10.1%と最も高く、次いで「子供を対象とした活動」が9.1%などとなっています。女性は「子供を対象とした活動」が11.3%と最も高く、次いで「まちづくりのための活動」が6.5%などとなっています。

図2-3 「ボランティア活動」の種類別行動者率

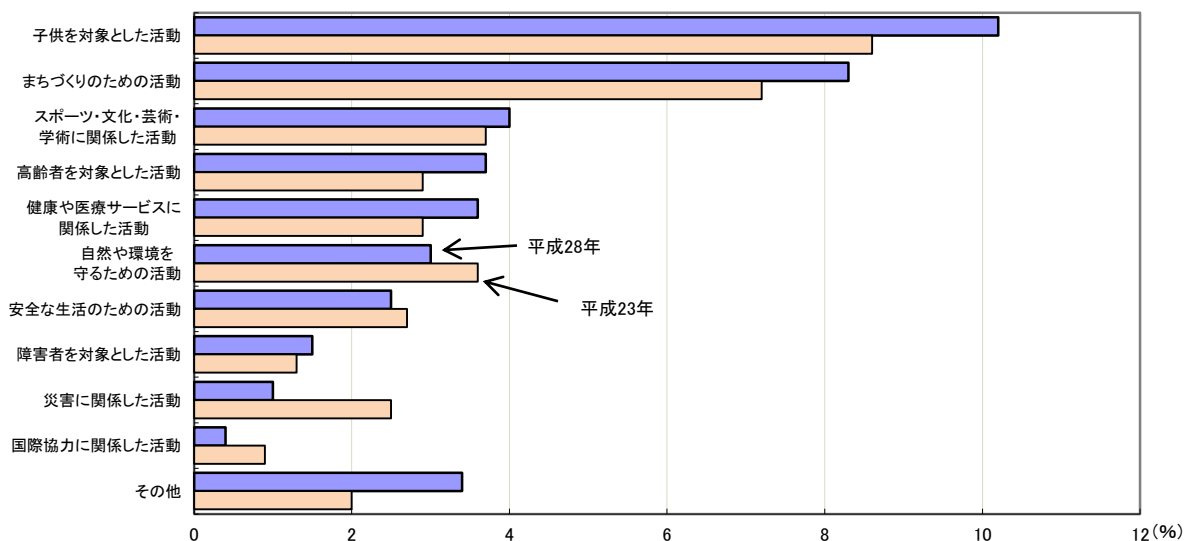
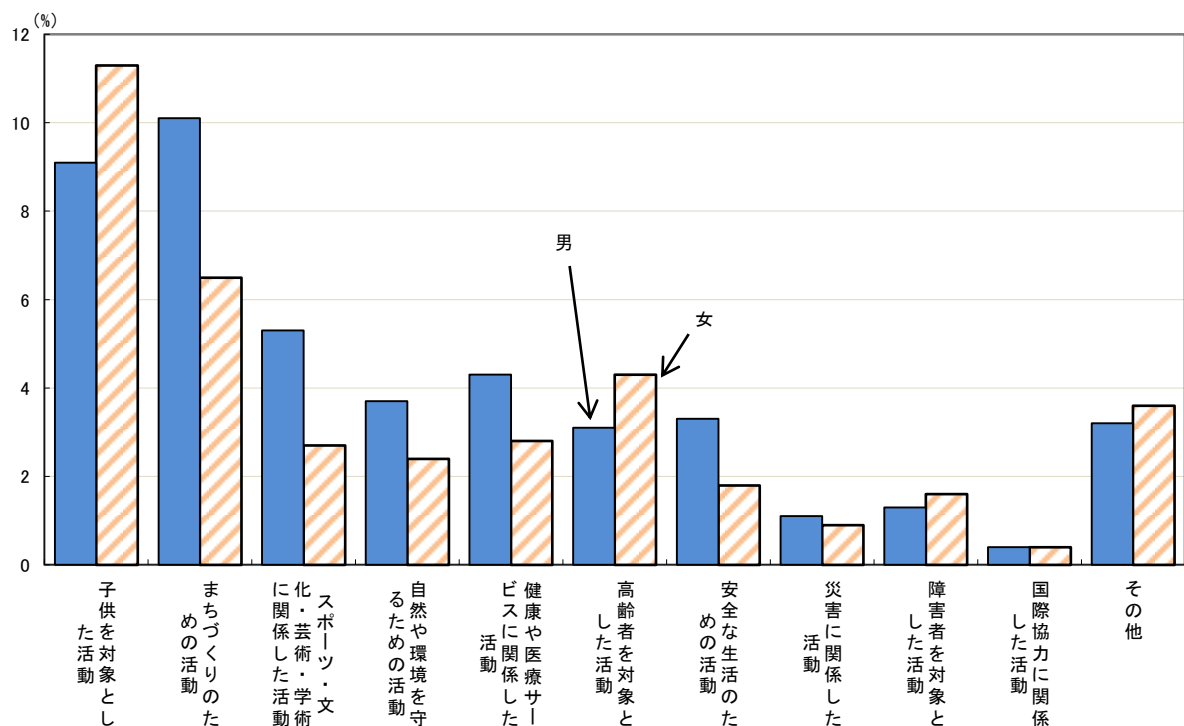


図2-4 「ボランティア活動」の種類、男女別行動者率(平成28年)





### 3 スポーツ

#### (1) 「スポーツ」の行動率は67.9%で5年前より5.6ポイント上昇

「スポーツ」の行動者数は83万6千人で行動者率は67.9%となっています。

男女別にみると、男性が44万6千人、女性が38万9千人となっており、行動者率は男性が74.0%、女性が62.1%で男性が女性より12.1ポイント高くなっています。

行動者率は平成23年に比べ5.6ポイント上昇しています。これを男女別にみると男性が5.5ポイント上昇、女性が5.7ポイント上昇しています。

行動者率を年齢階級別にみると、10歳～14歳が最も高く、年齢が高くなるにつれておむね低下しています。

男女別にみると、全ての年来階級で男性の方が高くなっており、特に15歳～24歳年齢階級で差が大きくなっています。

図3-1 「スポーツ」の年齢階級別行動者率

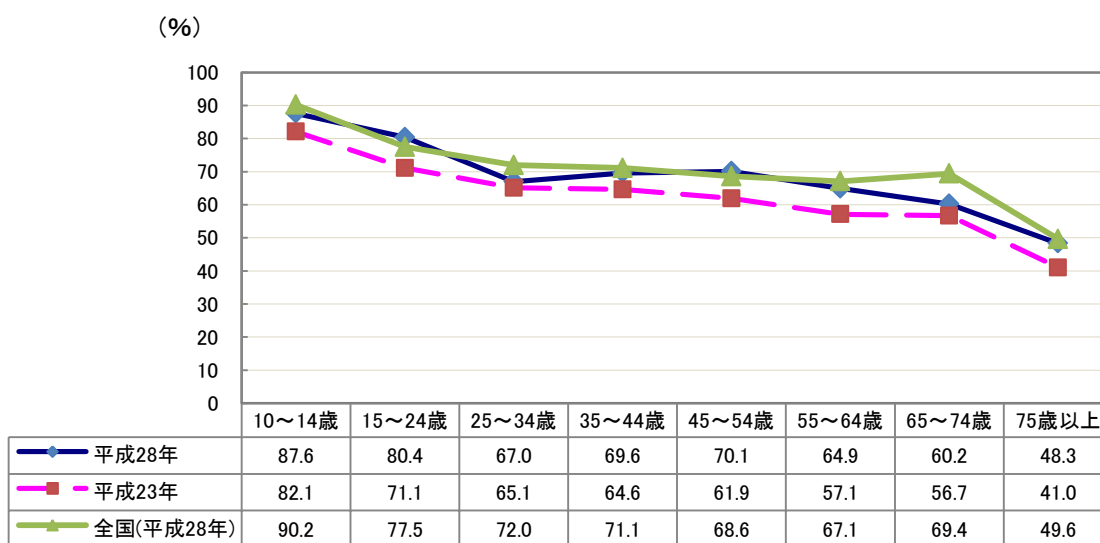
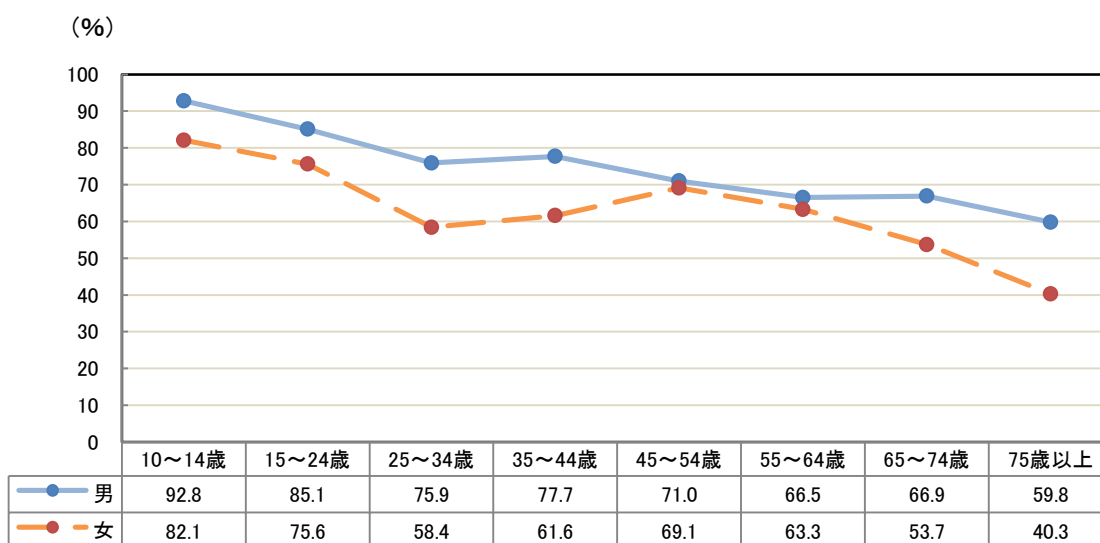


図3-2 「スポーツ」の男女、年齢階級別行動者率(平成28年)



(2) 行動者率は「ウォーキング・軽い体操」が最も高い

「スポーツ」の種類別に行動者率をみると、「ウォーキング・軽い体操」が38.6%と最も高く、次いで「ボウリング」が19.6%となっています。これを平成23年と比べると「ウォーキング・軽い体操」が4.2ポイント上昇、「ボウリング」が1.0ポイント上昇などとなっています。一方、「ゴルフ」が0.6ポイント低下、「水泳」が0.4ポイント低下などとなっています。

また、男女別にみると、男女共に「ウォーキング・軽い体操」が最も高く、男性が35.6%、女性が41.4%。次いで「ボウリング」が男性23.6%、女性が15.7%などとなっています。多くのスポーツで男性が女性を上回っているが、「ウォーキング・軽い体操」、「バドミントン」及び「登山・ハイキング」については、女性の行動者率が男性の行動者率よりも高くなっています。

図3-3 「スポーツ」の種類別行動者率

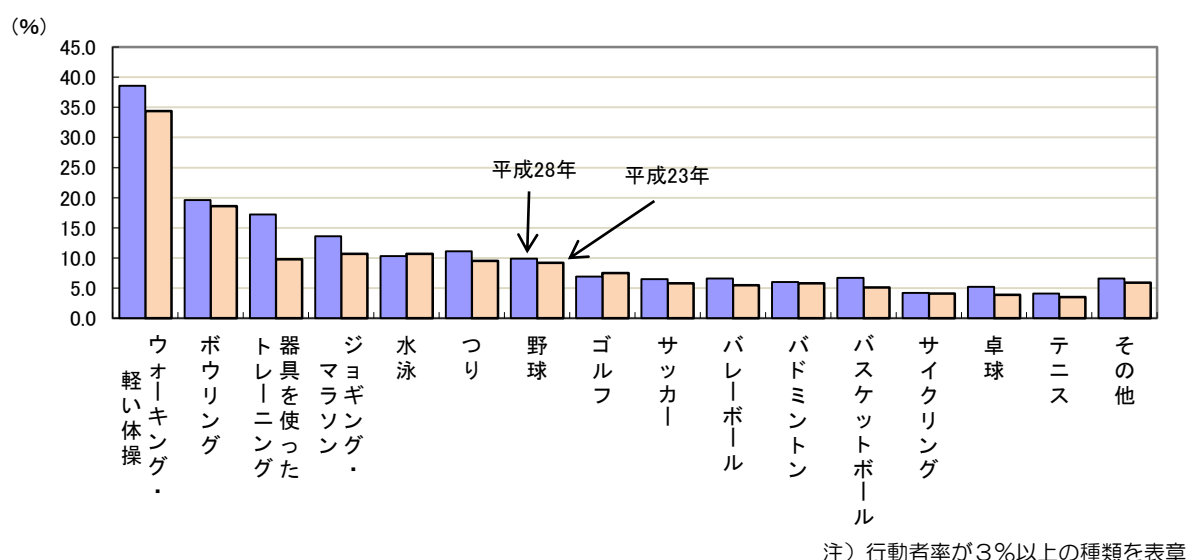
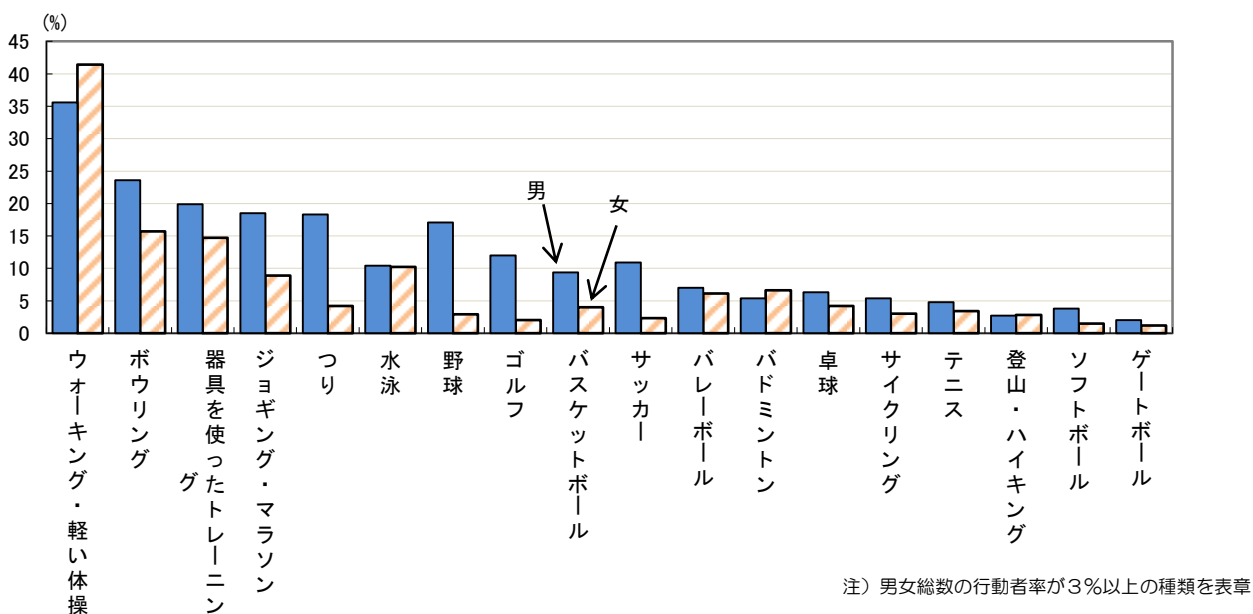


図3-4 「スポーツ」の種類、男女別行動者率(平成28年)



- (3) 年齢階級別の行動率は65歳～74歳で「ウォーキング・軽い体操」が最も高い  
「スポーツ」の年齢階級別に種類別の行動者率をみると、「ウォーキング・軽い体操」が最も高くなっています。全国と比べると、「ボウリング」の順位が高く、「登山・ハイキング」の行動者率の順位が低くなっています。

図3-5 「スポーツ」の年齢階級別、種類別行動者率(平成28年)

	1位	2位	3位	
総数	ウォーキング・軽い体操 38.6%	ボウリング 19.6%	器具を使ったトレーニング 17.2%	
10～14歳	水泳 36.1%	ボウリング 31.4%	バスケットボール 27.1%	
15～24歳	ボウリング 36.8%	ウォーキング・軽い体操 31.1%	ジョギング・マラソン 24.4%	器具を使ったトレーニング 24.4%
25～34歳	ウォーキング・軽い体操 35.1%	器具を使ったトレーニング 23.8%	ボウリング 23.0%	
35～44歳	ウォーキング・軽い体操 38.5%	ボウリング 26.7%	器具を使ったトレーニング 16.2%	
45～54歳	ウォーキング・軽い体操 42.1%	ボウリング 19.2%	器具を使ったトレーニング 16.6%	
55～64歳	ウォーキング・軽い体操 45.7%	器具を使ったトレーニング 14.1%	ボウリング 11.2%	
65～74歳	ウォーキング・軽い体操 47.5%	器具を使ったトレーニング 17.7%	ボウリング 6.3%	
75歳以上	ウォーキング・軽い体操 34.7%	器具を使ったトレーニング 9.9%	ゲートボール 7.3%	

(参考) 全国の年齢階級別、種類別行動者率の順位

	1位	2位	3位
総数	ウォーキング・軽い体操	器具を使ったトレーニング	ボウリング
10～14歳	水泳	ジョギング・マラソン	ボウリング
15～24歳	ウォーキング・軽い体操	ボウリング	ジョギング・マラソン
25～34歳	ウォーキング・軽い体操	ボウリング	ジョギング・マラソン
35～44歳	ウォーキング・軽い体操	水泳	ボウリング
45～54歳	ウォーキング・軽い体操	器具を使ったトレーニング	ボウリング
55～64歳	ウォーキング・軽い体操	器具を使ったトレーニング	登山・ハイキング
65～74歳	ウォーキング・軽い体操	器具を使ったトレーニング	登山・ハイキング
75歳以上	ウォーキング・軽い体操	器具を使ったトレーニング	ゴルフ

※その他を除く

#### 4 趣味・娯楽

##### (1) 「趣味・娯楽」の行動率は83.9%で5年前より4.2ポイント上昇

「趣味・娯楽」の行動者数は103万3千人で行動者率は83.9%となっています。

男女別にみると、男性が50万5千人、女性が52万8千人となっており、行動者率は男性が83.6%、女性が84.2%で女性が男性より0.6ポイント高くなっています。

行動者率は平成23年に比べ4.2ポイント上昇しています。これを男女別にみると男性が4.7ポイント上昇、女性が3.7ポイント上昇しています。

行動者率を年齢階級別にみると、10～14歳が最も高く、年齢が高くなるにつれて低下しています。

男女別にみると、男性では15～24歳が最も高く、女性は10～14歳が最も高くなっています。

図4-1 「趣味・娯楽」の年齢階級別行動者率

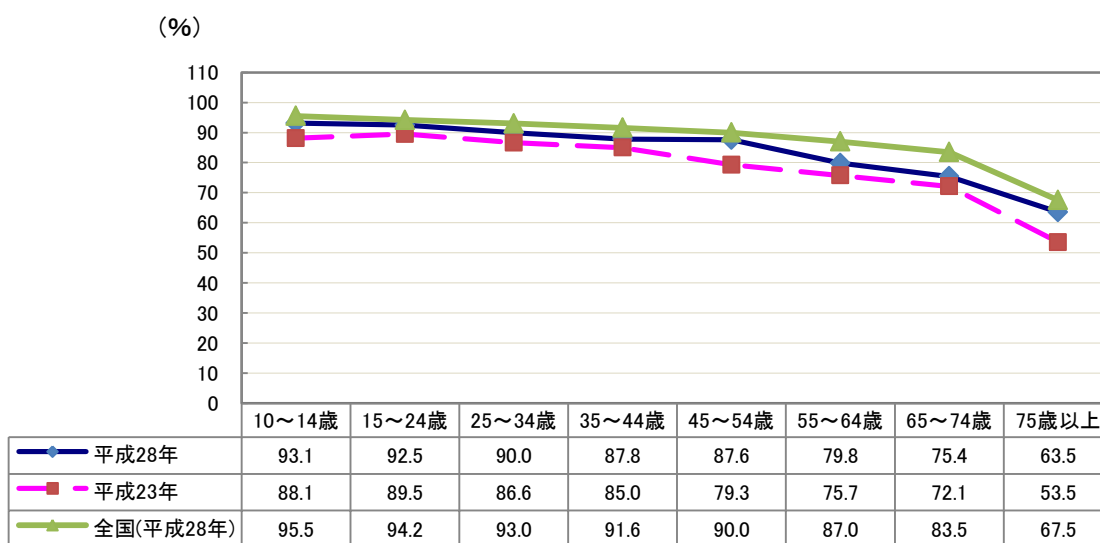
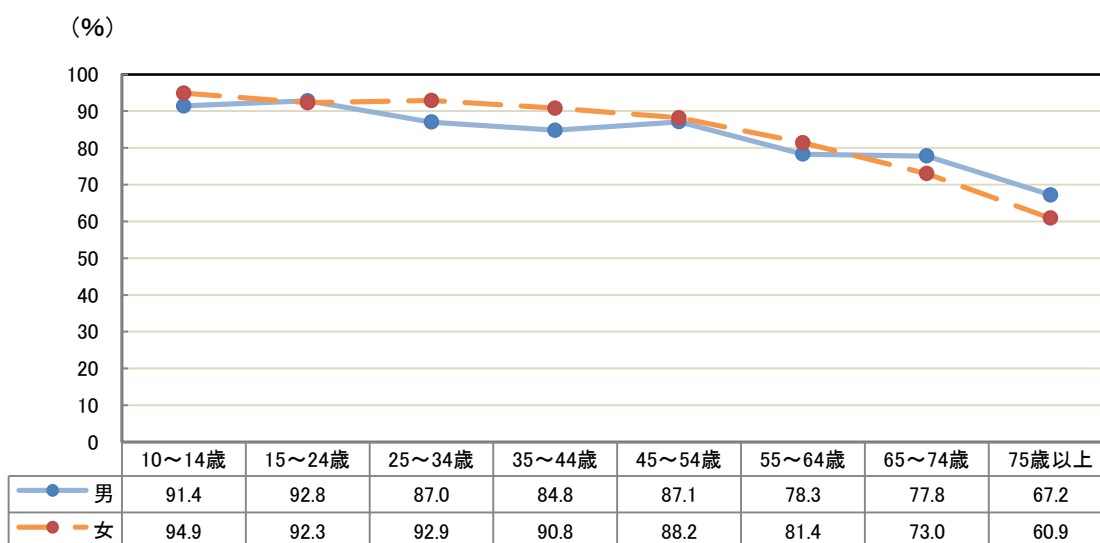


図4-2 「趣味・娯楽」の男女、年齢階級別行動者率(平成28年)

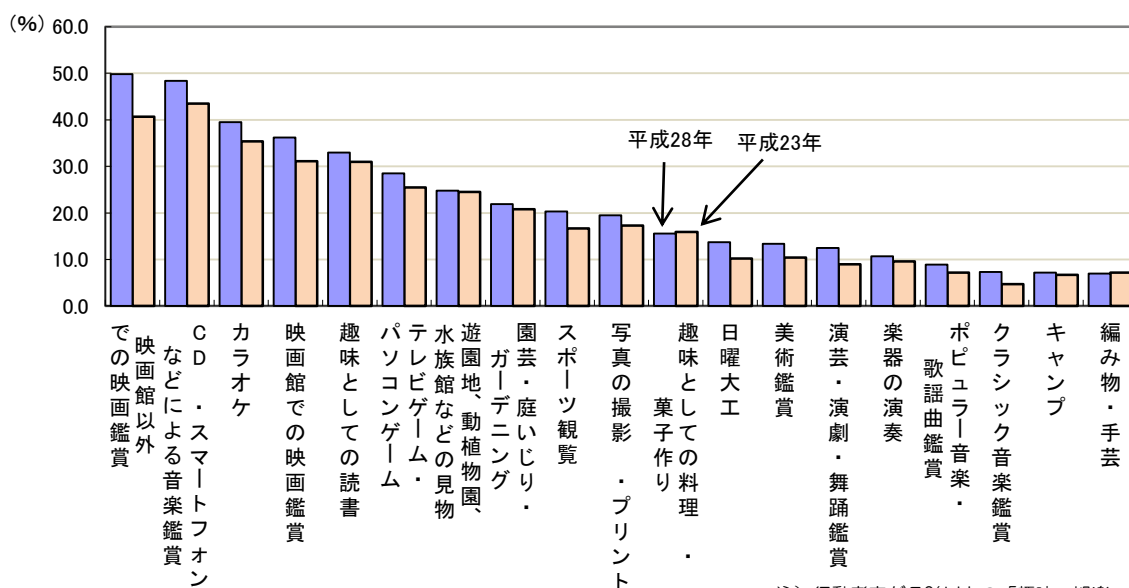


(2) 行動者率は「映画館以外での映画鑑賞」が最も高い

「趣味・娯楽」の種類別に行動者率をみると、「映画館以外での映画鑑賞」が49.8%と最も高く、次いで「CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞」が48.4%、「カラオケ」が39.5%などとなっています。これを平成23年と比べると「映画館以外での映画鑑賞」が9.1ポイント上昇、「CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞」が4.9ポイント上昇などとなっています。一方、「趣味としての料理・菓子作り」が0.3ポイント低下、「編み物・手芸」が0.2ポイント低下となっています。

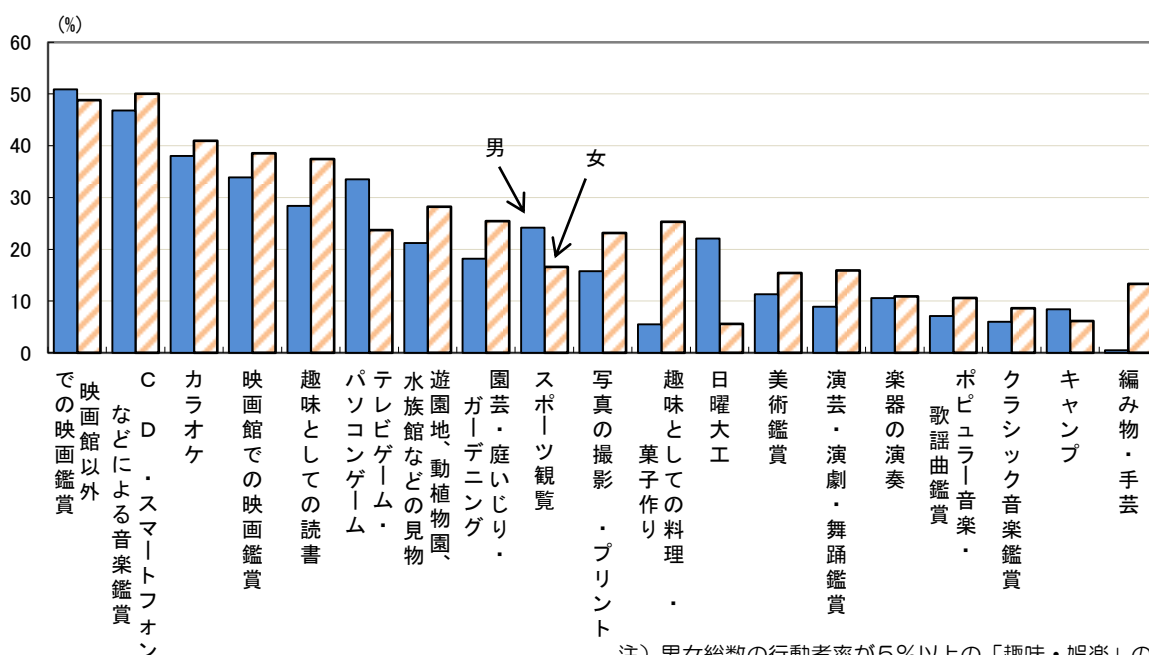
また、男女別にみると、男性は「映画館以外での映画鑑賞」が50.9%と最も高く、次いで「CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞」が46.8%などとなっています。女性は「CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞」が50%と最も高く、次いで「映画館以外での映画鑑賞」が48.8%などとなっています。

図4-3 「趣味・娯楽」の種類別行動者率



注) 行動者率が5%以上の「趣味・娯楽」の種類を表章

図4-4 「趣味・娯楽」の種類、男女別行動者率(平成28年)



注) 男女総数の行動者率が5%以上の「趣味・娯楽」の種類を表章

- (3) 年齢階級別の行動率は15歳～24歳で「CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞」が最も高い

「趣味・娯楽」の年齢階級別に種類別の行動者率をみると、「CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞」が最も高くなっています。年齢階級が高くなるにつれ「園芸・庭いじり・ガーデニング」が上位を占めています。全国と比べると、「カラオケ」の順位が高くなっています。

図4-5 「趣味・娯楽」の年齢階級別、種類別行動者率(平成28年)

	1位	2位	3位
総数	映画館以外での映画鑑賞 49.8%	CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞 48.4%	カラオケ 39.5%
10～14歳	テレビゲーム・パソコンゲーム 64.3%	CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞 61.9%	映画館以外での映画鑑賞 60.5%
15～24歳	CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞 79.6%	映画館以外での映画鑑賞 68.4%	映画館での映画鑑賞 63.1%
25～34歳	CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞 68.2%	映画館以外での映画鑑賞 62.6%	カラオケ 51.6%
35～44歳	映画館以外での映画鑑賞 59.9%	CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞 59.6%	カラオケ 42.7%
45～54歳	映画館以外での映画鑑賞 56.1%	CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞 48.5%	映画館での映画鑑賞 37.1%
55～64歳	映画館以外での映画鑑賞 40.7%	園芸・庭いじり・ガーデニング 36.9%	CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞 35.5%
65～74歳	園芸・庭いじり・ガーデニング 41.9%	カラオケ 30.0%	趣味としての読書 27.7%
75歳以上	園芸・庭いじり・ガーデニング 26.3%	映画館以外での映画鑑賞 18.5%	趣味としての読書 17.9%

(参考) 全国の年齢階級別、種類別行動者率の順位

	1位	2位	3位
総数	映画館以外での映画鑑賞	CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞	映画館での映画鑑賞
10～14歳	テレビゲーム・パソコンゲーム	映画館での映画鑑賞	映画館以外での映画鑑賞
15～24歳	CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞	映画館での映画鑑賞	映画館以外での映画鑑賞
25～34歳	CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞	映画館以外での映画鑑賞	テレビゲーム・パソコンゲーム
35～44歳	CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞	映画館以外での映画鑑賞	テレビゲーム・パソコンゲーム
45～54歳	映画館以外での映画鑑賞	CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞	趣味としての読書
55～64歳	映画館以外での映画鑑賞	趣味としての読書	CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞
65～74歳	園芸・庭いじり・ガーデニング	趣味としての読書	映画館以外での映画鑑賞
75歳以上	園芸・庭いじり・ガーデニング	趣味としての読書	映画館以外での映画鑑賞

## 5 旅行・行楽

### (1) 「旅行・行楽」の行動率は52.4%で5年前より1.6ポイント上昇

「旅行・行楽」の行動者数は64万5千人で行動者率は52.4%となっています。

男女別にみると、男性が29万人、女性が35万5千人となっており、行動者率は男性が48.1%、女性が56.6%で女性が男性より8.5ポイント高くなっています。

行動者率は平成23年に比べ1.6ポイント上昇しています。これを男女別にみると男性が0.4ポイント上昇、女性が2.9ポイント上昇しています。

行動者率を年齢階級別にみると、10～14歳及び25～34歳を除く全ての年齢階級で上昇しています。

男女別にみると、65～74歳年齢階級を除く全ての年齢階級で女性の方が高くなっています。

図5-1 「旅行・行楽」の年齢階級別行動者率

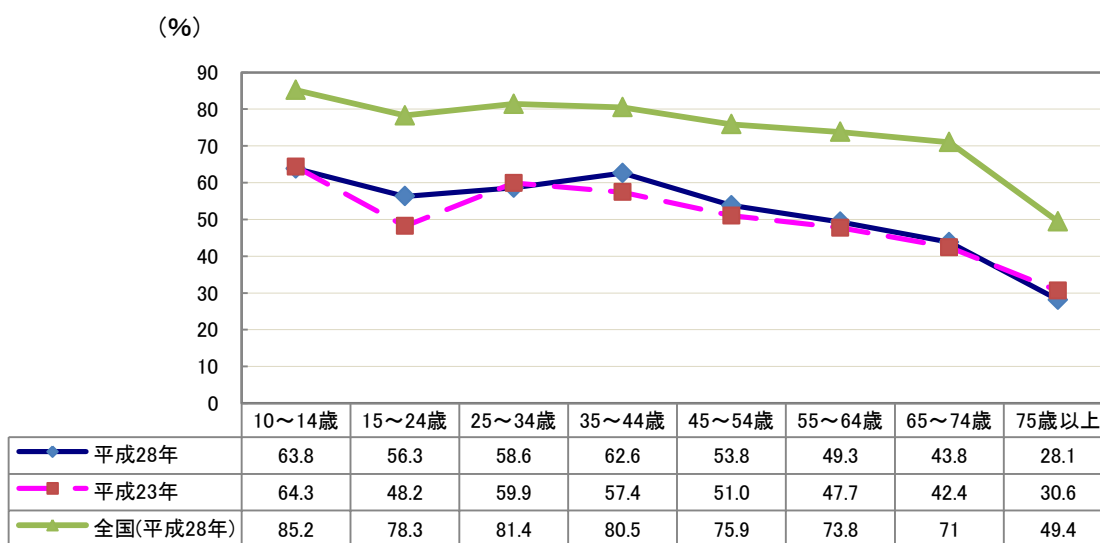
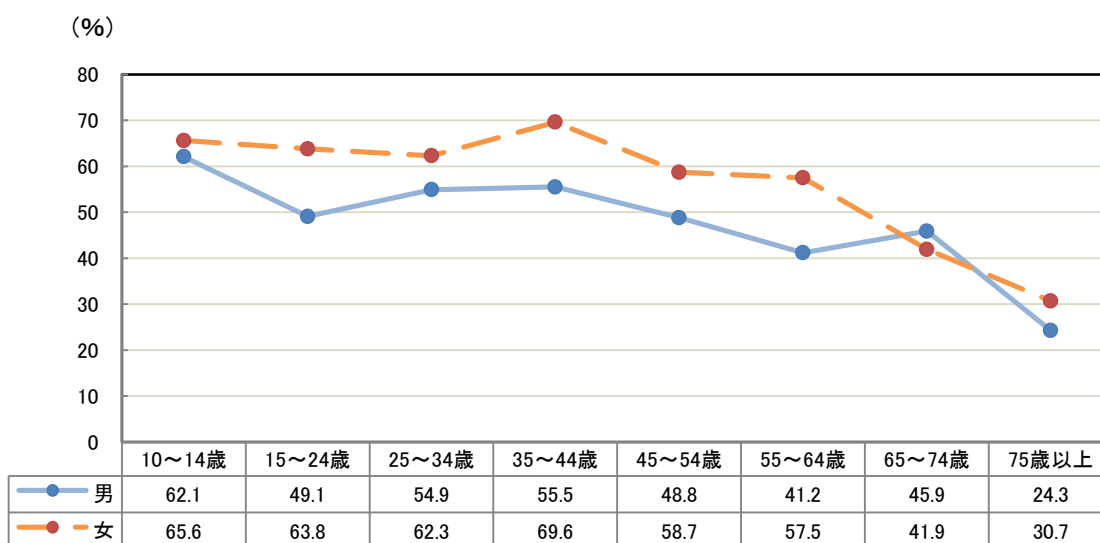


図5-2 「旅行・行楽」の男女、年齢階級別行動者率(平成28年)



(3) 行動者率は「行楽（日帰り）」が34.2%、「観光旅行（海外）」が4.5%

「旅行・行楽」の種類別に行動者率をみると、「行楽（日帰り）」が34.2%、観光旅行では国内が28.3%、海外が4.5%などとなっている。これを平成23年と比べると、「観光旅行（国内）」が6.6ポイント上昇、「行楽（日帰り）」が0.7ポイント低下などとなっています。

男女別にみると、全ての種類で女性の方が高くなっており、「行楽（日帰り）」では男性31.7%に対し女性36.7%と女性の方が5ポイント高く、「観光旅行（国内）」では男性が25.8%に対し、女性30.6%と4.8ポイント女性の方が高くなっています。

図5-3 「旅行・行楽」の種類別行動者率

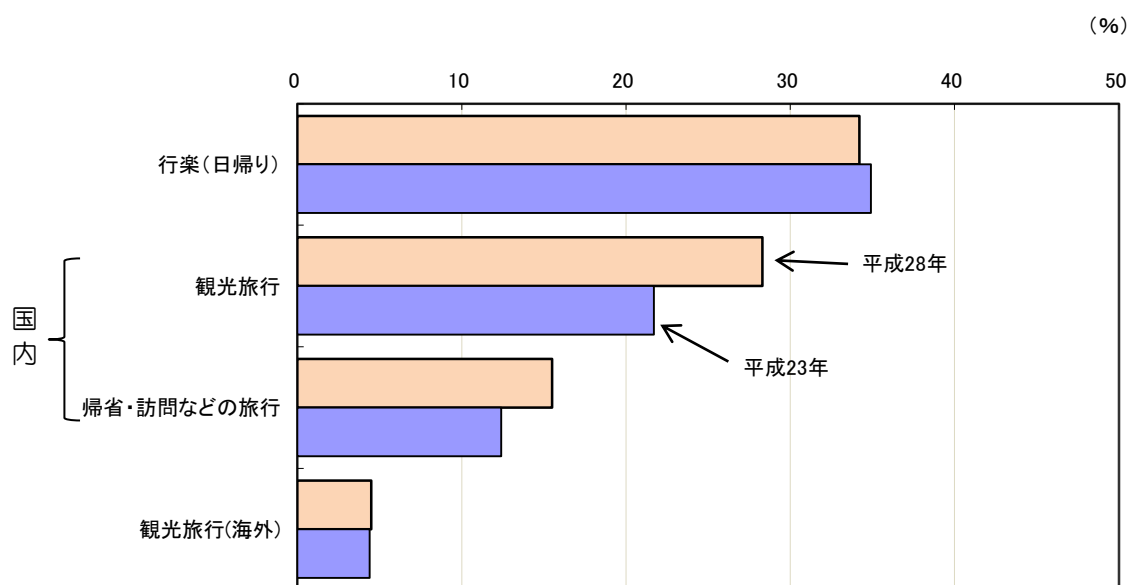
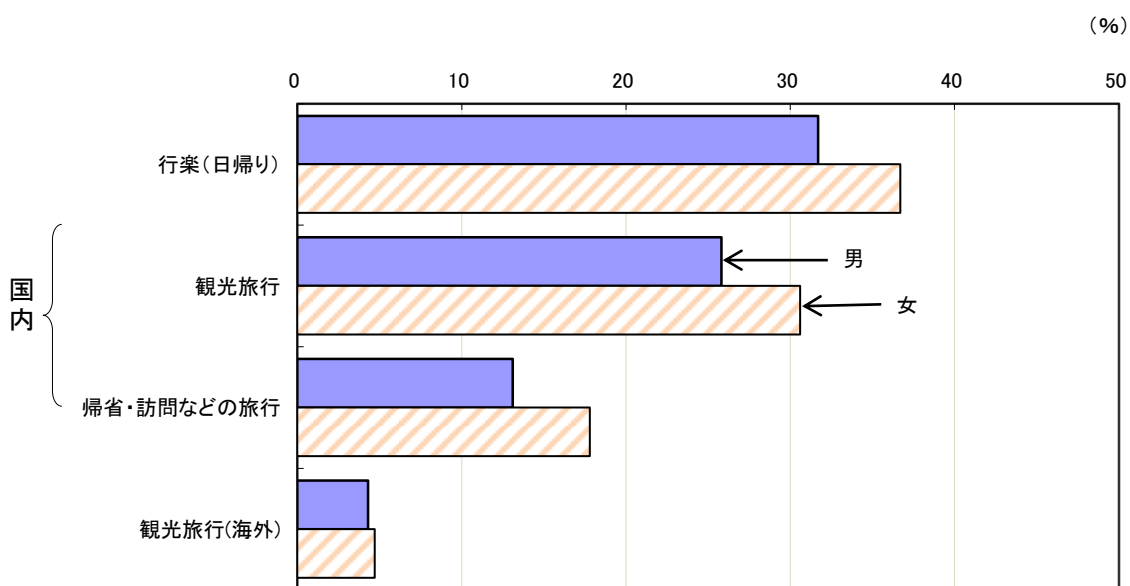


図5-4 「旅行・行楽」の種類、男女別行動者率(平成28年)





## 6 全国との比較

表1 生活行動行動者率の全国との比較

学習・自己啓発・訓練		ボランティア		スポーツ		趣味・娯楽		旅行・行楽	
順位	都道府県名 (%)	順位	都道府県名 (%)	順位	都道府県名 (%)	順位	都道府県名 (%)	順位	都道府県名 (%)
1	東京都 46.2	1	滋賀県 33.9	1	東京都 75.7	1	千葉県 90.6	1	東京都 78.5
2	神奈川県 43.9	2	岐阜県 33.4	2	埼玉県 72.6	2	東京都 90.1	2	愛知県 78.5
3	千葉県 41.1	3	島根県 33.1	3	神奈川県 72.4	3	神奈川県 90.1	3	神奈川県 78.0
4	京都府 41.1	4	熊本県 32.7	4	千葉県 71.6	4	埼玉県 89.3	4	埼玉県 77.9
5	滋賀県 39.9	5	佐賀県 32.6	5	滋賀県 71.6	5	愛知県 88.8	5	滋賀県 77.6
6	埼玉県 39.0	6	鹿児島県 32.6	6	愛知県 71.2	6	滋賀県 88.5	6	千葉県 77.4
7	兵庫県 38.9	7	富山県 32.4	7	京都府 70.1	7	京都府 88.3	7	富山県 76.1
8	奈良県 38.7	8	長野県 32.3	8	兵庫県 69.5	8	石川県 88.0	8	奈良県 75.6
9	大阪府 37.7	9	福井県 32.2	9	奈良県 69.5	9	茨城県 87.5	9	三重県 75.2
10	岡山県 37.0	10	鳥取県 32.2	10	栃木県 69.3	10	兵庫県 87.2	10	群馬県 75.0
	全国 36.9	11	山形県 32.1	11	石川県 69.1	11	広島県 87.1	11	岐阜県 75.0
11	宮城県 36.7	12	石川県 31.6		全国 68.8	12	富山県 87.0	12	山梨県 74.2
12	福岡県 36.6	13	岡山県 30.8	12	茨城県 68.5	13	岡山県 87.0	13	宮城県 74.1
13	愛知県 36.3	14	岩手県 30.2	13	山梨県 68.2		全国 87.0	14	石川県 73.9
14	山梨県 35.2	15	大分県 29.8	14	静岡県 68.2	14	奈良県 86.9	15	兵庫県 73.9
15	長野県 35.1	16	山梨県 29.7	15	鹿児島県 68.2	15	宮城県 86.7	16	福井県 73.6
16	三重県 34.9	17	静岡県 29.4	16	群馬県 68.1	16	静岡県 86.6	17	福岡県 73.6
17	富山県 34.3	18	宮崎県 29.1	17	長野県 68.1	17	三重県 86.6	18	長野県 73.5
18	福井県 34.3	19	三重県 29.0	18	富山県 67.9	18	大阪府 86.6	19	静岡県 73.5
19	広島県 34.3	20	群馬県 28.3	19	沖縄県 67.9	19	群馬県 86.3		全国 73.5
20	茨城県 34.2	21	香川県 28.2	20	岐阜県 67.4	20	福岡県 86.3	20	茨城県 73.4
21	石川県 34.1	22	福島県 28.1	21	大分県 67.2	21	長野県 85.6	21	岡山県 73.3
22	香川県 34.1	23	福岡県 28.1	22	三重県 66.9	22	福井県 85.4	22	京都府 73.1
23	群馬県 33.9	24	山口県 27.8	23	大阪府 66.9	23	岐阜県 85.4	23	新潟県 72.7
24	沖縄県 33.8	25	長崎県 27.7	24	岡山県 66.8	24	北海道 85.2	24	山形県 72.5
25	岐阜県 33.7	26	愛媛県 27.5	25	愛媛県 66.8	25	香川県 85.2	25	栃木県 72.4
26	佐賀県 33.7	27	秋田県 27.2	26	熊本県 66.7	26	山梨県 84.9	26	大阪府 71.4
27	静岡県 33.3	28	奈良県 26.8	27	広島県 66.5	27	大分県 84.5	27	福島県 70.3
28	和歌山県 33.0	29	宮城県 26.7	28	宮城県 66.4	28	山口県 84.3	28	広島県 70.1
29	愛媛県 32.6	30	茨城県 26.2	29	香川県 66.0	29	栃木県 84.2	29	大分県 70.1
30	栃木県 32.5	31	栃木県 26.2	30	山口県 65.8	30	岩手県 84.0	30	北海道 69.1
31	大分県 32.2	32	徳島県 26.2	31	福岡県 65.8	31	山形県 84.0	31	鳥取県 68.7
32	熊本県 32.1		全国 26.0	32	徳島県 65.4	32	島根県 84.0	32	山口県 68.7
33	徳島県 31.8	33	兵庫県 26.0	33	鳥取県 65.2	33	沖縄県 83.9	33	秋田県 68.5
34	山口県 31.5	34	広島県 25.6	34	福井県 65.0	34	愛媛県 83.6	34	佐賀県 68.5
35	鳥取県 31.3	35	神奈川県 25.5	35	北海道 64.9	35	鹿児島県 83.5	35	愛媛県 67.8
36	島根県 31.3	36	千葉県 25.2	36	長崎県 64.5	36	福島県 83.4	36	島根県 67.6
37	北海道 31.0	37	沖縄県 25.1	37	宮崎県 64.5	37	和歌山県 83.4	37	香川県 67.5
38	山形県 30.8	38	愛知県 24.6	38	和歌山県 63.6	38	新潟県 83.3	38	和歌山県 67.4
39	長崎県 30.0	39	京都府 24.6	39	島根県 63.5	39	鳥取県 83.1	39	徳島県 66.8
40	鹿児島県 29.2	40	新潟県 24.5	40	佐賀県 63.4	40	佐賀県 83.1	40	鹿児島県 66.8
41	宮崎県 29.1	41	埼玉県 24.2	41	福島県 63.1	41	長崎県 83.0	41	熊本県 66.6
42	岩手県 29.0	42	和歌山県 24.2	42	高知県 62.7	42	熊本県 82.3	42	宮崎県 65.9
43	新潟県 29.0	43	北海道 22.6	43	新潟県 62.6	43	徳島県 82.1	43	岩手県 65.7
44	福島県 28.9	44	高知県 22.6	44	山形県 61.6	44	宮崎県 81.0	44	長崎県 62.2
45	高知県 27.7	45	青森県 22.4	45	岩手県 60.6	45	青森県 80.7	45	高知県 60.8
46	秋田県 27.4	46	東京都 21.6	46	秋田県 60.6	46	高知県 80.5	46	青森県 59.4
47	青森県 24.8	47	大阪府 20.6	47	青森県 56.0	47	秋田県 80.3	47	沖縄県 52.4